



発行所

〒999-7601

山形県鶴岡市藤島字古楯跡221

山形県立庄内農業高等学校

瑞穂同窓会

電話 0235 (64) 2151

FAX 0235 (64) 2404

E-mail shono@shonai-ah.ed.jp

印刷所

J A 印刷山形



庄農祭巨大絵『クラゲ』

クラゲには愛、命、創造性という意味がある。農業生産物に対して愛をこめ、命を大切に育てたい。地域との繋がりを大切に、地域、学校を盛り上げたいという想いを込めて。

庄農校歌

作詞 土井晚翠
作曲 辻 順治

一、国の大本農の業

学び修むる庄内の

我が三郡の若き子等

ひたひたにかさす象徴の

徳は千万の民の糧

二、鳥海月山羽黒山

水は名に負ふ最上川

山河自然の雄大を

朝な夕なを眺めつゝ

浩然の氣を育つ子等

三、あ、庄内の農学の

校に集る若き友

感謝に充ちて天職の

清きを奉じ末遠く

その向ふの道を進え

第四十二期生

志田鶴峰

ご挨拶



同窓会長
齋藤 久

瑞穂同窓会の皆様には、日頃から本会へのご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。令和7年度総会で本会運営の任を担うことになりました昭和43年度卒業の齋藤久でございます。

明治34年県立荘内農学校として開校以来、長い歴史を持ち庄内唯一の農業高校として、食や農の技術養成と地域経済の振興発展の役割を果たされ、現在1万7千人を超える同窓生を輩出している母校に改めて敬意を表すとともに、その母校を支える瑞穂同窓会の果たすべき役割の重責に、浅学の者ゆえに、会員皆様力強く温かいご指導ご助言をよろしくお願い申し上げます。

さて「1国の大本業の業：浩然の氣を育つ子等」と土井晩翠氏作詞の母校校歌に歌われているように、また「農は国の基なり」と中国唐時代の皇帝の規範となる『帝範』にあるように、農業は国家が成り立つ基礎であり、国の政治経済の基本となるものです。そして、天地に満ちるような公明正大で揺るぎない精神を育むことでもあります。

域活性化に貢献している「庄農うどん」、剣道部や農業クラブ等の活躍、庄農生らしい社会貢献活動等々生徒の奮闘は数え切れません。輝く農業の未来に向けて、母校の生徒が食と農を大切にすることを育み、農業が魅力ある産業として持続的に発展していくために、その地域社会の現場で活躍する重要な人材として成長してくれることを期待しております。

本会も母校との連携を密に、会員相互の親睦を厚くし、農業上の諸般の事項を深く研究し、母校の発展のために本会の活動に拍車をかけていきたいと考えております。本会役員一丸となって取り組みますので、改めて会員皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



校長
酒井 孝

同窓会の皆様には日頃より本校教育活動に御支援を賜り深く感謝申し上げます。昨年度からは卒業生への記念品も新たに賜っており、先輩の期待にお応えすべく生徒職員丸となつて今年度も励んでまいりました。おかげ様で、「日本おもしろい米コンテスト」最優秀金賞獲得や県総体剣道団体準優勝をはじめとする素晴らしい成績を多数おさめ、多くの皆様からお褒め頂いております。

さて、人口減少社会を迎え人材育成の重要性が改めて問われる中、農業やスポーツを主題として人育てに励まれている齋藤久会長や齋藤隆前会長に代表される通り、多くの諸先輩が地域や組織等で御活躍されています。私はお二人の会長と親しく交流させて頂き、学校が人育て機関であることを再認識いたしました。授

業や部活動、学校行事や場合によっては謹慎を伴う特別指導など、全ての教育活動が人育てを目的に行われることは自明の理ですが、活動を行うこと自体が目的化してしまい、全国的に指導力不足と呼ばれる教師や学校が増えているかもしれません。そのような中、教育機関として誇るべき様々な本校の活動の中で特に紹介させて頂きたいのは剣道部の活動です。成果を挙げたからでは決してありません。県総体で優勝できなかった直後の「大人の総括会議」で監督も保護者も私も声をあげて泣きました。教師が生徒や保護者と共に喜んだり泣いたり、つまり感動を共有する活動が本校にはあるのです。

学校だけでなく家庭や地域の教育力低下が懸念されている通り、人育ては簡単なことではありません。私のようにぼーっとしている教師ほど外部の方々と交流して視野を広げ、教師としての職責を強く認識しなければなりません。幸い、本校は地域から愛され支えられている学校ですので、多くの方々から本校職員と関わりて頂きたいと考えております。その橋渡し役として期待される存在こそ同窓生の皆様ですので、本校教育力の維持向上のためにも、多くの御助言と御支援を今後とも賜りますように何卒よろしくお願い申し上げます。

会員の皆さまには、益々ご健勝でお過ごしのこと存じます。私事、令和七年度瑞穂同窓会総会をもちまして会長を退任いたしました。平成二十六年から五期十一年間、在学時代の恩師でもありました土井会長（先生）の後を受け、自分



前同窓会長
齋藤 隆

を育ててくれた母校への恩返しもあり、会長職を務めさせていただきました。お世話になりました役員の方々のご支援と本校歴代事務局先生のお力添えに感謝申し上げます。同窓会のなすべき事として、母校の力強い「応援団」であることを糧とし、先輩の皆さま方そして歴代の諸先生・地域の方々が築きあげてきた輝かしい歴史と伝統を踏まえ、事業の展開・活動を推進してまいります。

会長としての十年間を振り返りますと、①役員若返りと女性役員の登用に取り組みしました。特に支部長さんのご高齢化と同窓会報配布等の業務の大変さがあり、支部長交代の推奨と会報配布業務を廃止いたしました。

②本校創立百二十周年を控え、学校側から熱望のあった車両購入について、記念事業前倒しとして総会の承認を得て実施いたしました。但し、創立百二十周年記念事業当年は、全国的なコロナ禍の影響があり当初の計画を大幅に変更し、開催することとなり非常に残念でもありました。コロナ禍の影響は、入学式及び卒業式にも参列できない状況にも及びました。③同期会奨励金として還暦を迎えた同窓生に助成し、親睦交流と同窓会への関心を高める事を期待し、新規事業として立ち上げました。

さて、今後少子化による生徒数減少等本校並びに瑞穂同窓会としても課題山積で厳しい時代を迎えますが、次の皆さまに、ハッパしたいと思っております。

正月早々には、米国によるベネズエラへの軍事侵攻と衝撃的な事件がありました。先の見えない国際情勢等世の中不透明感が増すなか、不安と希望が入り混じる未来であります。しかし、いつの時代にあつても本校校歌にある「国の大本業の技」「農は国の大本なり」は、本校の伝統であり学校姿であります。激動の二十一世紀、母校の発展と会員皆さまの

を育ててくれた母校への恩返しもあり、会長職を務めさせていただきました。お世話になりました役員の方々のご支援と本校歴代事務局先生のお力添えに感謝申し上げます。同窓会のなすべき事として、母校の力強い「応援団」であることを糧とし、先輩の皆さま方そして歴代の諸先生・地域の方々が築きあげてきた輝かしい歴史と伝統を踏まえ、事業の展開・活動を推進してまいります。

健勝とご活躍を祈念し退任のあいさつとします。

総会報告

令和七年六月二十六日(木) 瑞穂会館において総会が開催されました。

(一) 令和七年度事業報告並びに決算報告について
一般会計・基本金会計 会計
監査報告について。

(二) 令和八年度事業計画並びに予算案について。

(三) 役員改選について

(一) について原案どおり承認されました。

(二) について原案どおり承認されました。

(三) について原案どおり承認されました。

連絡 役員のご推薦可能な方がいれば事務局へ連絡を頂きたい。
(記録・叶野 哲 齋藤浩紀)

褒章・叙勲受章者

2025年春

旭日小綬章



新田 嘉一

はからずも令和7年春、産業振興功労で旭日小綬章の栄に浴したことは身に余る光栄と、感激致しております。

高校在学中は野球に打ち込み、4番で中堅手、主将を務め甲子園を目指しました。後にプロ野球・南海ホークス（現・福岡ソフトバンクホークス）で通算221勝を挙げた名投手・皆川陸雄さんがいる米沢高（現・米沢興譲館高）と対戦し、速球をセンター前にはじき返したヒットの場面は、70年余経った今でも良い思い出として脳裏に浮かんできます。文武に励んだ高校時代の素晴らしい経験こそ私の原点です。私を育んでくれた庄内農高、そしてこれまで導いてくれた皆さまに改めて感謝申し上げます。

旭日双光章



五十嵐 直太郎

平成元年3月に、酒田市の農業委員を拝命し、令和6年6

月に（社）山形県農業会議会長を退任しました。35年余り、ただひたすらに農地行政と農業振興に取り組んで来ました。令和7年春の叙勲で、栄えある旭日雙光賞を賜り、感激で胸一杯です。

長い間活動を支えてくれた、今は亡き妻や家族は元より、地域の皆様、関係組織、団体の皆様、そして験にかぶ先人の皆様のご指導と、ご協力があればこそと、只々感謝の念が尽きません。若い頃都内で会社勤めをしながら、見上げる空は狭いものでした。雄大なる自然を有する本県、そして広大な庄内の農地と空。国民の共有財産である農地を少しでも多く次世代に継ぐ必要があります。「穂は千万の民の糧...」

瑞宝单光章



遠藤 勇



この程、令和7年春の叙勲に於いて瑞宝单光章を賜り、大変名誉なこと嬉しく思っております。残念ながら田植え作業と重なり、東京での伝達式や、皇居での天皇陛下との拝謁に参加できなかったのが心残りです。

昭和58年に消防団に入団し、『自分の地域の生命財産は自分たちで守る』を心情に、活動をやって来ました。火災現場での逃げ遅れや山での遭難したり悲しい出来事も有りましたが、長きにわたり活動できたのも家族の支えが有ったからだと思えます。おかげさまで令和7年春に藍綬褒章を賜ることが出来ました。現役を引退し6年が過ぎましたが、近年地震や水害等大きな災害が増えています。微力ながら集落の防災に貢献したいと思えます。

瑞宝单光章



庄司 仁

令和7年春の叙勲・褒章伝達式が5月9日に山形市の文翔館に於いて執り行われました。

八幡町消防団に30才で入団して市町村合併に伴い酒田市消防団に統一され20年の歳月が経ちました。当時は2150名の団員数でしたが現在は1600名の団員数となっています。火災は勿論ですが地震・水害等など大きな災害がいつどこで起きても不思議ではない状態になっています。令和6年7月の大雨による荒瀬川の氾濫で八幡地区も大きな被害が発生しました。団員の役目を果たすことが年々大きくなっている様に思えます。東日本大震災では多くの人命を失いました。公助・自助・共

助の言葉はあるけれど基本は自分の命は自分で守るのだと私は思っています。人は誰しも幸せになる為に生きているのだと自分は信じています。今まで多くの人達に支えられて来れた事に対して感謝申し上げます。

褒章・叙勲受章者

2025年秋

瑞宝双光章



成沢 一彦

この度、栄誉ある瑞宝双光章の叙勲を賜ることが出来ました。振り返りますと、庄内農業高校には、夏分は自転車、冬は同じ集落の友と歩いての通学でありました。

村上校長、担任だった向井先生、稲作担当で同郷の小林先生、養鶏の奥山先生、柔道の小柳先生らが印象にあります。稲作実習、夏、玉川開拓での宿泊での開墾作業などもありました。卒業すると羽黒町役場に奉職し、鶴岡市との合併まで、45年間勤めさせていただきました。これまで、多くの方々に支えられ、温かく見守りしていただいたおかげ様と感謝しております。

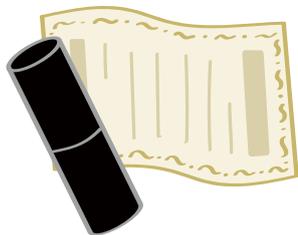
旭日双光章



尾形 修一郎

農林水産省の勲章伝達式会場に入つて、車イスや杖を使用している人が多く、しかもそれは同伴の奥様方に多かったことに驚いた。名簿の年齢をみるとほとんどが後期高齢者。ここまでがらばって仕事をして初めて戴くご褒美かと思つた。

振り返れば、私も77の喜寿を迎えるまで約40年、家業の米作りをしながら、「日本の鮭資源を守る」という立場で仕事をし、全国のいろいろな方々と交流を深め、時には家庭を省みる事も忘れ懸命に働いてきた。自分では一途に打ち込める仕事と立場を与えられ、幸せな時を過ごしてきたと喜んでいる。仲間がいて仕事ができ、支えてくれた家族があって受賞できた事に大きな喜びを感じている。心から感謝の思いを強くした叙勲だった。



剣道部



食料生産科3年 押井 聖翔

全国国民スポーツ大会に出場して

私は東北国スポを勝ち抜き、滋賀県で開催された本大会に出場しました。初めての出場でしたが、緊張することはなく思い切った戦うことができました。その結果、初戦の山口県に勝利し、続く佐賀県には負けたものの、第5位に入賞しました。高校3年間の集大成としてふさわしい戦いだったと思います。仲間と戦い抜いた時間は私の誇りであり、支えてくれた方々への感謝を忘れません。高校生活で得た経験は、苦しさも含め今後の人生を支える大きな力になりました。この経験や思い出は、私の一生の財産になりました。

最後に、これまでご支援や応援していただいた同窓会の皆様には感謝しております。ありがとうございます。

剣道部



食料生産科3年 井上 裕生

東北選手権大会に出場して

福島県で行われた東北大会に出場しました。日頃の厳しい稽古を切磋琢磨してきた仲間と東北各地から強豪が集う中、これまで支えてくださった先生方や家族への感謝の気持ちを胸にチーム丸となり臨

ウェイトリフティング



食料生産科2年 阿部 比奈太

東北高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会に出場して

私は東北高校選手権・インターハイ出場が決まる県総体では不甲斐ない結果を残し、インターハイ出場は叶いませんでした。しかし、東北高校選手権には出場することが決まり、「3位入賞」という目標を掲げ、強い思いで日々の練習に取り組みました。

大会当日、緊張もありましたが、これまでの練習を信じ、先生や部員、他校の友達からの応援もあり、結果、スナッチとトータルにおいて3位入賞することができました。今はR8年3月にある全国高校選抜大会出場に向けて頑張っています。さらには3年生でインターハイ、国体に出場し入賞できるように努力を重ねていきます。今の自分があるのは智洋先生や指導してくださった方々、部員である仲間のおかげだと思っています。これからも感謝の気持ちを忘れずに全力を尽くして頑張ります！

ウェイトリフティング



食料生産科2年 阿部 洸希

東北高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会に出場して

私は、県総体で東北高校選手権大会・インターハイの切符を勝ち取ることが出来ました。初の県外での上位大会、秋田県で開催された東北高校選手権では自分が思う以上のプレッシャーがありました。結果、クリーン&ジャーク3位、トータル5位入賞を果たすことが出来ました。これも先輩や部員、他校の応援、先生方のご指導のおかげだと強く感じています。また、インターハイは怪我のため残念ながら出場を辞退することとなり、とても悔しい思いをしました。だからこそ、さらに高みを目指し今冬の全国高校選抜大会に出場できるように日々の練習に力を入れていきます。そして、来年度は出場した全ての大会で一位になることを目標に掲げ、最後の年、悔いのないように精一杯頑張っていきます！

農業クラブ



食品科学科3年 金丸 歆絆

米粉と歩んだ2年間

日本学校農業クラブ意見発表表競技にて山形県大会で入賞し、東北大会に出場してきました。課題研

農業クラブ



食料生産科2年 村西 治男

農業鑑定全国大会出場

10月22日、令和7年度農業クラブ全国大会西関東大会が山梨県を主会場に行われ、私は農業鑑定競技の作物部門に出場してきました。

農業クラブ



食品科学科2年 上林 彩弥乃

東北大会に出場して(意見発表)

私は日本学校農業クラブ連盟の東北大会意見発表に「庄農うどん大作戦!」をテーマにした発表で県の代表として選ばれました。夏休み中は原稿を繰り返し読み、表現力や声量に注意し、また、質疑応答のための問題を想定し先生と、繰り返し練習しました。練習では、多くの先生方から指導をしていただきました。家族にも練習に付き合ってもらったことで自信が付き、私は「はやく本番を迎えたい!」とわくわくするようにになりました。

本番では、緊張もなく自分の力を発揮することができました。質疑応答では自分の考えを簡潔に堂々と伝えることができました。今年には東北大会での優秀賞でしたが、私が目標としているのは最優秀賞です。来年は東北大会での

最優秀賞を目標に頑張ります。



農業クラブ



2年A組 高橋 勇哉

県農ク平板測量最優秀

私は2年生の授業選択に、測量を選びました。ただ単に興味があ...

農業クラブ



3年A組 難波 晴希

2連覇達成!

私たちは、令和7年度山形県高等学校サーベコンテストUAV測量の部において、2年連続で優勝する...

年は優勝することができ、今年は2連覇を目指し取り組みました。

コンテスト



食料生産科3年 伊藤 那奈

「つや姫」最優秀金賞の喜び

11月29日に庄内町で開催された、「あなたが選ぶ日本おいしい米コンテスト決勝大会」に高校生部門、品種「つや姫」で出場し、最優秀金賞を受賞しました。

本番では緊張感のある中でも、これまでの練習を信じ、落ち着いて競技に臨むことができました。

同窓会役員名簿

- 顧問 新田嘉一 保科直士
会長 齋藤隆
副会長 阿部昇司 齋藤豪
理事 成澤正身 板垣允俊
阿曾千一 佐藤敬 熊田洋勝
渡邊俊宏 佐藤伸 加藤欣也
監事 長南進 加藤正彦
評議員 佐藤才 佐藤弥一
相馬一廣 高橋勉 川村章一
池田源衛

支部だより

庄内町の集い、事務局 佐藤 敬
12月7日(日)瑞穂同窓会「庄内町の集い」が第四まちづくりセンターで23名の参加で開催されました。



生徒の活躍や学校の状況、学校を活性化させる取り組み

みななどについてご尽力されているとのことでした。

その後、懇親会に移り、高校時代の思い出や日頃の様々な話題に話がはずみあつという間に時間が過ぎ盛会でした。

地域交流会について

令和7年11月16日、在校生が育てた里芋で「牛肉のいも煮」を食べる交流会を開催しました。

記念公演は藤島地域出身で、山形県警本部の渡部雄大氏を招いて「未来のある少年剣士の育成について」と題し講演されました。

- 温海 五十嵐庄一
鶴岡 佐藤昌哉 齋藤吉藏
五十嵐久弥 鈴木敬一
木村陽一 藤原潔 松浦賢
三浦伸一 難波衛市 後藤勇
酒田 松本文雄 佐藤幸喜
斎藤成司 岩崎博 佐藤守
川村章一 青葉徹 島田良彦
斎藤孝
平田 富樫文雄
八幡 後藤孝之助
遊佐 池田源衛
新潟 富樫由
北海道 石川清
事務局 佐竹正浩 齋藤智洋
成澤幸喜 叶野哲 齋藤浩紀
佐藤政宏 土門涉 加藤啄弥
池田まゆみ

良く心に残りました。渡部氏は各大会で優秀な成績を挙げた方で、剣道部の父兄で子供を警察官にならせたいと参加した方もおられました。

7年剣道部の斎藤正人顧問は「滋賀国スポ大会」に庄農から押井聖翔選手を送り出し、県少年男子の部の監督となり、第5位入賞という山形県で17年ぶりの快挙を成し遂げました。

懇親会では各テーブルに芋煮の鍋を配置、各自が盛り付けてコロナ対策になり好評でした。交流会も年々参加者が増え、現場の先生方にも参加して貰い家庭園芸や野菜作りなど地元の人々と話し合えたら楽しい事だと思えます。

庄農うどんをはじめ、自慢できる事を多く、皆で考えたと思います。



令和 7 年度 卒業生進路先

(1) 進路決定状況 在籍38名

	就 職				
	県内	県外	自営 縁故	公務員	未定
食料生産科	7	1	2	3	2
食品科学科	6	3	0	0	1
小 計	13	4	2	3	3
合 計	25				

	進 学					
	四大	短大	大 学 校		専 門	未 定
			農 林	他		
食料生産科	4	0	0	0	2	0
食品科学科	2	0	1	1	3	0
小 計	6	0	1	1	5	0
合 計	13					

(2) 進路先一覧 五十音順・敬称略・() 内の数字は複数名内定

【就職】

◎県内(14名)

株式会社ブルボン鶴岡工場、株式会社南東北クボタ、まるい食品株式会社、ヤンマーアグリジャパン株式会社、OKIサーキットテクノロジー、因幡塚土地改良区、生活協同組合共立社、株式会社高砂製作所、株式会社米シスト庄内、株式会社でん六、有限会社菅原農機、有限会社田和楽、株式会社主婦の店鶴岡店、社会福祉法人恵泉会

◎県外(5名) *自営含む

ライスフィールド小山田、セコム株式会社、株式会社積善館、株式会社ニューロード、ALSOK埼玉株式会社

◎公務員(3名)

酒田市職員(初級行政) 鶴岡市職員(消防士) 陸上自衛隊(一般曹候補生)

【進学】

◎四年制大学(6名)

東北農林専門職大学(農林業経営学部・農業経営学科)、東北公益文科大学(公益学部・公益学科)(2)、仙台大学(体育学部・現代武道学科)、仙台白百合女子大学(人間学部・子ども教育学科)、東京農業大学(地域環境科学学部・森林総合学科)

◎大 学 校 (2 名)

東北農林専門職大学附属農林大専攻(農産加工経営学科)、山形県立産業技術短期大学校庄内校(ITビジネス科)

◎専 門 学 校 (5 名)

山形医療技術専門学校(作業療法学科)、仙台スイーツ&カフェ専門学校(パティシエ・カフェ科)、にいがた製菓・調理専門学校えぶろん(調理技術科)、東北電子専門学校(情報システム科)、大原ビジネス公務員専門学校(文化・教養専門課程公務員学科)

農場だより



作物

作物部門では今年度も高品質・良食味米の生産に取り組みました。8月にはJGAPの維持審査が行われ是正事項が一つもなく維持認証を受けることができました。今年度は天候にも恵まれ全量1等米で出荷することができました。その結果、『第19回あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町』高校生部門において、つや姫が最優秀金賞を受賞することができました。また、ミルクキーンを鶴岡市ふるさと納税返礼品として登録することができ、記者発表では多くの報道機関より取材を受けました。全国の皆様に本校産米の美味しさを知っていただくことができました。今後も良食味米の生産と

野菜

今年度も、春先の野菜苗販売は地域の方々に好評を得ながら開催することが出来ました。作付けについては、例年並みに植え付けることはできましたが、夏の猛暑や水不足によって、収量が大幅に減ってしまった作目がありました。しかし、無事に収穫の秋を迎え地域の方々へ高品質の野菜を提供することができました。引き続き高品質の野菜を提供できるように取り組んでいきたいと思えます。

草花

昨年度に引き続き、藤島歴史公園や福祉施設での花壇整備活動を通して、地域の皆様との交流を深めることができました。今年度は、猛暑に耐え、秋の

果樹

今年度も天候のよしあしに非常に左右されました。春先のオウトウの開花では、低温で雨が続



切り花「ストック」・冬の鉢花シクラメンの生育が順調に進み、地域の方よりご好評をいただきました。今後は、地域の卒業式等を彩るサイネリア・ペラルゴニウム栽培、春花壇用の育苗等に引き続き注力してまいります。



き昨年同様受粉がうまくいかず、報道されております通り、記録的な不作となりました。夏はこれまで記録的な少雨となり、リング、モモでは玉伸びが悪く小果となりました。ブドウは逆に裂果も少なく豊作となりました。柿はあまり左右されず例年通り豊作となりました。以前と比べて、園全体でもカメムシの被害が増えてきています。今後、より一層生育ステージにあった細やかな低温、高温対策や病害虫防除が求められます。これらの多くの課題に対し、生徒と共に適切な対

加工部門

処法を見出し、より充実した学習に結びつけられるように頑張っていきたいと思えます。

加工部門では、「庄農うどん」「コーピス」「米粉活用食品」などの、多様な加工品を製造・販売しております。今年度も、各種販売実習や中学生1日体験入学、庄農祭、そして庄農うどん大作戦!など、様々な学校行事・地域行事・イベントにおいて皆様との交流や、庄農加工品「販売をさせていただきます。販売につきましては毎回即完売ということで、大変ご好評いただいております。心より感謝申し上げます。加工部門では地域活性化、地方創生等を意識した取り組みを今後も続け、国からの高校DX化事業で導入される先端機材等も活用しながら、庄農生が今後も地域と共に歩み、振興していけることができるよう活動してまいります。



令和7年度農業クラブ等成績

校内意見発表会 5月23日(金)

最優秀 「米粉で食卓に笑顔を！」

食品科学科3年 金丸 歆絆

食品科学科2年 泉大会出場

優秀 (発表順)

「私を彩る庄農うどん」

食品科学科2年 上林彩弥乃

「次世代に繋ぐ庄内柿」

食品科学科3年 板垣 華凜

「農業と医療の架け橋へ」

食品科学科3年 竹川 葉里

「グルテンフリー食品を開発する食品技術者を目指して」

食品科学科2年 池田 樹

「私の夢」

食品科学科3年 難波 晴希

「私の農業プラン(祖父の思いを継いで)」

食品科学科1年 池田 蒼空

校内農業鑑定競技会

実物:6月12日(休)・筆記:6月30日(月)

最優秀

食品科学科2年 村西 治男

優秀

食品科学科1年 池田 蒼空

食品科学科3年 難波 晴希

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 伊藤 那奈

食品科学科3年 畑山 知之

食品科学科3年 若生 琉介

食品科学科3年 押井 聖翔

食品科学科3年 日向 啓心

食品科学科2年 皆川奈那実

食品科学科3年 仲川 晃生

最優秀

食品科学科2年 秋野 美晴

食品科学科2年 池田 樹

食品科学科2年 五十嵐陽穂

食品科学科3年 齋藤 彩音

食品科学科3年 佐藤 綾

食品科学科3年 齋藤 弘輝

食品科学科3年 田澤凛太郎

食品科学科2年 鈴木 優香

食品科学科1年 小林 溪輝

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 和島 史葵

県大会

第33回 山形県高等学校サバイコンテスト

6月4日(水) 会場:山形県総合運動公園

※農業科設置校以外も含む全参加校中での成績

総合優勝

【平板測量の部】

優勝 山形県立庄内農業高等学校Aチーム

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 岡野 碧生

食品科学科2年 村西 治男

食品科学科3年 高木 奏奈

食品科学科2年 岡野 碧生

食品科学科3年 村西 治男

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 岡野 碧生

食品科学科2年 村西 治男

食品科学科3年 高木 奏奈

食品科学科2年 岡野 碧生

食品科学科3年 村西 治男

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 岡野 碧生

食品科学科2年 村西 治男

食品科学科3年 高木 奏奈

食品科学科2年 岡野 碧生

食品科学科3年 村西 治男

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 岡野 碧生

食品科学科2年 村西 治男

食品科学科3年 高木 奏奈

食品科学科2年 岡野 碧生

食品科学科3年 村西 治男

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 岡野 碧生

食品科学科2年 村西 治男

食品科学科3年 高木 奏奈

食品科学科2年 岡野 碧生

食品科学科3年 村西 治男

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 岡野 碧生

食品科学科2年 村西 治男

食品科学科3年 高木 奏奈

食品科学科2年 岡野 碧生

食品科学科3年 村西 治男

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 岡野 碧生

食品科学科2年 村西 治男

食品科学科3年 高木 奏奈

食品科学科2年 岡野 碧生

食品科学科3年 村西 治男

県連盟

意見発表会 6月23日(月)

会場:山形テルサ

【分野I類(農業生産・農業経営)】

優勝 「米粉でつなぐ地域の輪」

食品科学科3年 金丸 歆絆

食品科学科3年 泉大会出場

食品科学科2年 板垣 華凜

食品科学科3年 上林彩弥乃

食品科学科2年 池田 樹

食品科学科3年 難波 晴希

食品科学科2年 高橋 勇哉

食品科学科3年 伊藤 那奈

食品科学科3年 畑山 知之

食品科学科3年 若生 琉介

食品科学科3年 押井 聖翔

食品科学科3年 日向 啓心

食品科学科2年 皆川奈那実

食品科学科3年 仲川 晃生

食品科学科2年 秋野 美晴

食品科学科2年 池田 樹

食品科学科2年 五十嵐陽穂

食品科学科3年 齋藤 彩音

食品科学科3年 佐藤 綾

食品科学科3年 齋藤 弘輝

食品科学科3年 田澤凛太郎

食品科学科2年 鈴木 優香

食品科学科1年 小林 溪輝

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

各種コンテスト

令和7年度(第41回)農業高校生小論文コンクール

優秀賞 食品科学科3年 難波 晴希

奨励賞 食品科学科3年 金丸 歆絆

佳作 食品科学科3年 仲川 晃生

あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト

【高校生部門最優秀金賞】

山形県立庄内農業高等学校(つや姫)

西関東大会 10月21日(火)~23日(木)

【農業鑑定競技会】

会場:山形県立農林高等学校

作物コース

優勝 食品科学科2年 村西 治男

【クラブ員代表者会議】

会場:山形県立北杜高等学校

出場 食品科学科2年 五十嵐陽穂

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠

食品科学科2年 鈴木 柚子

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科2年 和島 史葵

食品科学科1年 小川 悠



令和 6 年度 庄内農業高等学校瑞穂同窓会事業報告 (令和 7 年 6 月 26 日)

Table with 6 columns: Date, Business Content, Remarks, Date, Business Content, Remarks. It details the activities of the alumni association in FY2024, including general meetings, branch meetings, and the publication of the magazine.

令和 6 年度 庄内農業高等学校瑞穂同窓会経常費収支決算書 (令和 7 年 6 月 26 日)

Income and Expense Statement for FY2024. It is divided into two main sections: Income (収入の部) and Expenses (支出の部), each with a detailed breakdown of items and amounts.

令和 7 年度 庄内農業高等学校瑞穂同窓会事業計画 (令和 7 年 6 月 26 日)

- List of 9 items detailing the planned activities for FY2025, such as magazine publication, thank-you gifts, commemorative gifts, and support for branch activities.

令和 7 年度 庄内農業高等学校瑞穂同窓会予算 (令和 7 年 6 月 26 日)

Budget Statement for FY2025. It includes income and expense sections, comparing this year's budget with the previous year's actuals. It also includes a separate section for the basic fund accumulation calculation for FY2024.

編集後記: 第69号の編集にあたり、無事に発行することができましたことに関係の皆様によりお礼申し上げます。今年度も生徒の活躍が多く見られたことで特別寄稿を掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。今後とも会員の皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。会員の皆様の益々の御健勝を祈念申し上げます。 佐竹正浩 (第93回卒業)